

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

平成28年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/13 大般若会大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/25 群馬県婦人会総会
- 6月~9月 里山再生事業普請
- 6/25~6/26 県青年会主催
第54回群馬緑蔭禪の集い
- 7/12 吉井町仏教会総会
- 7/13~7/16 新暦盂蘭盆会
京浜地区檀信徒棚経
- 7/21~7/22 第35回子供禪の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/19~9/25 秋季彼岸会
- 10/7 県宗務所主催
特派布教師巡回法話
- 11/4 関東管区婦人会主催
秋季研修大会
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

※毎週水曜日 定例坐禅会
 ※隔週水曜日
 梅花講・琴教室・華道教室
 ※群馬県宗務所執務日
 月・水・金曜日

仁叟寺30世寺族隆室常照禪尼位 渡辺テル(号,晃苑)逝去



↑ 通夜葬儀風景 (撮影・大澤竹治氏)

去る6月5日夜、仁叟寺30世龍源寺28世寺族、渡辺テル(号、晃苑)が、93歳を一期として逝去いたしました。

当山住職の母、前任職の妻に当たります。母は、渡辺石橋老師を父とし当地に生を受け、富岡高等女学校及び大妻女子大学を卒業し、教職に就き、更には寺族として住職を補佐する傍ら、二男一女を育てました。また、書家として活躍し、高崎書道会所属・仁叟寺書道教室「雅道会」を主宰。書展での受賞は勿論、高崎書道会理事及び初代吉井町書道協会会長等を歴任し、多くの弟子を育てました。

通夜葬儀は、12、13日に修行され、100名を超える御寺院様はもとより、中曾根弘文・福田達夫両議員始め700名近い関係各位のご会葬を賜り、感謝に堪えません。また、総代人始め世話人有志の皆様方には、両日に亘りお手伝いいただきましたこと、併せまして厚く御礼申し上げます。合掌



群馬県宗務所特派布教師巡回（会場、仁叟寺）



曹洞宗群馬県宗務所主催の特派布教師巡回が、昨年に引き続き、会場は仁叟寺にて10月7日（金）に執り行われる予定です。特派布教師は北海道の薬王院住職田中清元老師が、ご来山いただく予定です。田中老師は、住職の古くからの法友でもあります。

また、日程が近づきましたら、檀信徒の皆様方には改めましてご案内申し上げます。入場無料です。ご参加いただきますよう、お願いいたします。

←昨年の特派布教師巡回風景。（於、仁叟寺）

曹洞宗群馬県宗務所婦人会総会圓成及び関東管区婦人会秋季研修会予定（会場、仁叟寺）



曹洞宗群馬県宗務所婦人会（会長、坪井みはと鳳仙寺寺族）主催の総会が、4月25日（月）に、仁叟寺にて開催されました。総会では、開講諷経ののち、當山住職である宗務所長より研修の法話会を行い、その後昨年度報告事項及び本年度審議事項を70名程の参加関係各位にて慎重審議されました。

また、本年は11月4日（金）に、総会に引き続き仁叟寺を会場に、関東管区婦人会の研修会が、修行される予定です。講師は兵庫県安泰寺住職であるネルケ無方老師。老師はドイツ人で、若くして禅の教えに目覚め、念願であった来日の後、修行を重ねました。著作や講演での布教にも熱心に取り組まれる傍ら、安泰寺では自給自足の生活を多くの外国人修行僧と共に送られております。

関東管区とは、関東地方に山梨県を加えた一都七県を指します。婦人会とは、寺院檀信徒のご婦人方を対象にした会であり、県内では二十数箇寺ほどが設立されており、各種寺院行事の参加やお手伝い、写経会や梅花流詠讃歌の講習等を行っている組織です。

予定では凡そ250名を超える多くの方々の参加を見込んでおり、多数の来賓関係者もお迎えする大きな研修会となる予定です。また、元県婦人会長の総見敬子長傳寺寺族は、全国婦人会長を勤められました。良き研修が勤められればと思っております。

↑ 所長老師による法話会の様子
↓ 開講式が終了し、所長老師より挨拶



群馬県宗務所主催 檀信徒研修旅行のご案内

曹洞宗 群馬県宗務所
東北の名刹を訪ねる研修の旅

曹洞宗群馬県宗務所
 所長：渡辺啓司
 教化主事：石野正賢

岩手県奥州市の大梅拈華山正法寺は、1348年に無庵良紹禪師が開山し、月泉良印禪師が二世となり、出羽奥州における曹洞第三の本寺であります。曹洞宗東北地方の拠点となり、末寺は現在七十二箇所を数えます。

特に巨大な茅葺屋根の本堂と庫裏・惣門が国の重要文化財に指定されております。また、天台宗東北の大本山・平泉の中尊寺は、円仁の開山とされ、奥州藤原氏三代所縁の寺院として、平安時代の美術、工芸、建築の粋を集めた国宝金色堂を始め、多くの文化財を有しております。同じく天台宗毛越寺は、浄土式庭園が国の特別名勝として有名であり、境内も特別史跡であり、中尊寺と共に世界遺産に登録されております。

尚、宿泊は花巻温泉郷である新鉛温泉の純和風の風情豊かな宿にて、名湯に浸かっていただく旅行を企画いたしました。

寺院及び檀信徒各位のお申込みをお待ち申し上げますので、奮ってのご参加をお願いいたします。

■旅行日程：平成28年11月9日～10日 1泊2日
 ■旅行代金：29,800円（交通費、1泊3食、記念写真代等を含みます。） ■添乗員同行
 ■募集人員：300名（定員になり次第締め切りさせていただきます） ■最少催行人員：120名
 ■申込方法：9月20日までに下記申込書にご記入の上、旅行代金29,800円と共に各都府県庁舎を通して教区長様までご持参ください。各教区ごとに申込書と旅行代金をとりまとめのうえ東武トップツアーズへお申し込みいただけます。

期日	行	程
11/9 水曜日	5:15～7:00 (高崎駅 6:30頃)	12:00 (昼食) 13:00
	県内各地 (高崎駅基準) == 高崎LC == 岩舟JCT == 一関LC == 一関 == 平泉前沢LC == 北関東自動車道 東北自動車道	
11/10 木曜日	8:40	9:45 10:30 10:35 (昼食) 13:10
	花巻温泉郷 (新鉛温泉) == 花巻南LC == 平泉前沢LC == 毛越寺 == 中尊寺...門前 == 平泉前沢LC == 岩舟JCT == 高崎LC == 県内各地 (高崎駅基準) 東北自動車道 北関東自動車道	17:30～20:45 (高崎駅 18:45頃)

※上記行程、時間は道路事情などにより、変更になる場合がございます。※食事回数：朝2回 昼2回 夜1回
 ※利用バス：東観光バス、群馬コープ観光バス

■団企画
曹洞宗群馬県宗務所
 〒370-0837 群馬県高崎市下横町1-7
 TEL. 027-315-4141 / FAX. 027-315-4142

■旅行企画・実施
東武トップツアーズ株式会社 館林駅支店
 〒374-0024 群馬県館林市本町2-1-1 館林駅前ビル3階
 TEL. 0276-78-2251 / FAX. 0276-72-5278 営業時間 平日9:00～18:00 (土日祝日休業)
 一般社団法人日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員 業16-063
 総合旅行業務取扱管理者：遠藤 賢一

※旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関・保険会社等への個人情報の提供について同意のうえ、本旅行に申し込みます。

参加申込書 取扱寺院：

No.	氏名	性別	年齢	住所	電話番号
1		男・女	才		
2		男・女	才		
3		男・女	才		

現在任職が所長を勤めます曹洞宗群馬県宗務所では、平成二十八年度の恒例の檀信徒研修旅行を十一月九日から十日の一泊二日の旅程で開催することとなりました。本年は、東北地方の名刹を訪ねる研修旅行で、世界遺産に指定された奥州平泉の中尊寺や毛越寺、日本最大の茅葺屋根本堂と伝わる曹洞第三の本寺と称される正法寺等に何う予定です。是非、秋の研修旅行に奮ってのご参加をお願い申し上げます。

←任職が所長を勤めております曹洞宗群馬県宗務所主催研修旅行の案内書。是非、奮ってのご参加を！

仁叟寺秋の研修参拝旅行は、一昨年の第10回をもって一先ず休止とさせていただきました。多くの方々に参加していただき、当寺恒例の日帰研修参拝旅行となり、有難く感謝しております。昨年からは、上記の通り任職が宗務所長を勤めます曹洞宗群馬県宗務所の研修旅行を行っております。県内各地より多くの方が参加し、バス8台で行っている恒例の研修旅行です。是非とも奮ってのご参加を宜しくお願い致します。

高崎市里山元氣再生事業報告



↑ おてんま風景
 ← 奉仕役員ほか集合写真

本年も継続事業となりました高崎市の里山元氣再生事業。仁叟寺竹林を整備し、地元と檀信徒総代人世話人の皆様方のご協力のもと、鋭意進めております。

當山及び地域では、6月より9月まで月一度ほど、山内関係者及び総代さん役員さん始めとした有志にて、おてんまをお願いし、下草や篠竹刈り等の作業を行っております。引き続き、関係各位にはお世話になりますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

大節分会 (2/3)、大般若会 (3/13) のご報告

←多くの善男善女で賑わった
仁叟寺大節分会
上毛新聞等に掲載されました



お寺に和洋の四重奏 高崎

本興出身の東京芸大生と卒業生で構成する音楽ユニット「ムジカ・コンカドール」による演奏会が13日、高崎市吉井町の仁叟寺(渡辺啓住職)で開かれ、檀家710人が尺八やフルートの音色に聴き入った。サクソホン、尺八、フルート、ピアノの4人が出演。ビバルディの「春」や日本の四季にまつわる童謡メロディなどが披露され、和洋の楽器による音の調和が聴衆を魅了した。和洋の楽器による音の調和が聴衆を魅了した。和洋の楽器による音の調和が聴衆を魅了した。和洋の楽器による音の調和が聴衆を魅了した。

↑↓仁叟寺大般若会・大施食会法要。本年は「ムジカ・コンカドール」による演奏会を行いました。



勢よく福豆、菓子
境内は福を求めた人たぎりにぎわった。境内は福を求めた人たぎりにぎわった。境内は福を求めた人たぎりにぎわった。境内は福を求めた人たぎりにぎわった。



高崎の仁叟寺
高崎市吉井町の仁叟寺「皆さん幸せが訪寺」渡辺啓司住職の「福を授けよう」と意気込みで福餅が次々と投げられ、大勢の参拝者が先にと手を伸ばした。文殊堂には来賓が並

高崎 高崎市 2/3多
仁叟寺 大部分会
福を授けて宙を舞う「福」をつかもう！
文殊堂にて開演や家内安全の新舞をした後、福豆や福餅、温泉宿の食品付きのボールなどがあふれる。
開催日時：2月27日～28日(土)～(日) 14時30分～15時30分
主催：高崎市仁叟寺
問い合わせ：027-337-5030 高崎 高崎市吉井町神保1295
入場無料 献上福餅吉井IC 19:30～19:50
※多くの人が訪れ「福」を授けたいと願う

上毛新聞特集記事 「やってみチャオ」坐禅

やってみチャオ
1988(昭和63)年に建立された「坐禅堂」
副住職が取材を受けました上毛新聞パレット欄の坐禅特集記事が三月二十四日に掲載されました。なお、定例坐禅会は毎週水曜日午後七時より、仁叟寺坐禅堂にて開催しております。

座禅 (高崎市)
年々時間の流れを早く感じるようになり、少し立ち止まって自分と対峙してみたいと思っていた。そこで以前から興味があったものの、敷居が高かったと思っていた座禅に挑戦してみた。
訪れたのは曹洞宗・仁叟寺(高崎市吉井町)。500年の歴史ある寺で、本格的な座禅堂がある。堂内の中央に聖徳太子像を配し、壁に向かって48の単座が用意されている。同宗派は「面壁」という壁に向かって座るスタイルだ。まず座蒲を整え、両足か片足を組んで座る。背筋を伸ばし、上体を左右に振りながら座り、呼吸を落ち着かせる。目を閉じると、眠気を誘うため、半眼で半畳先の45度に視線を落とす。追いかけて執着するのを避け、雑念を断つ。例えばおなかが減ったと感じたら、一度の体験にもかかわらず、空腹感を感じることがある。自分ができることを客観的に感じることを目指す。(小野)

呼吸と心を整え 静かな時間を
呼吸を伸ばし、上体を左右に振りながら座り、呼吸を落ち着かせる。目を閉じると、眠気を誘うため、半眼で半畳先の45度に視線を落とす。追いかけて執着するのを避け、雑念を断つ。例えばおなかが減ったと感じたら、一度の体験にもかかわらず、空腹感を感じることがある。自分ができることを客観的に感じることを目指す。(小野)

警察は僧侶が右肩を軽く打って予告したら、首を左に傾け右肩で受ける。

第54回群馬緑蔭禅の集い 仁叟寺にて修行

本年度で第54回目となります「群馬緑蔭禅の集い」が、仁叟寺を会場に6月25~26日の一泊二日に亘り、開催されました。

同集いは、副住職が会長を務めます群馬県曹洞宗青年会の主催の恒例行事で、本年は講師に「高崎だるま」で有名な地元高崎市の黄檗宗少林山達磨寺住職廣瀬正史老師を迎え、昨年に引き続き仁叟寺を会場として修行されました。青年僧が作る精進料理を召し上がっていただき、自然豊かな古刹寺院での環境の中、禅に親しむ身心一如の修行生活が、當山を舞台に行われました。

また入浴に当たっては、サンコー72カントリークラブを利用させていただき、法要等では梅花講の講員さんにお世話になりました。来年も県内寺院を会場に修行される予定です。坐禅に興味・関心のある方は、是非當山までお申込み下さい。



→上)ポスター、下)新聞に掲載されました
 緑蔭禅の集い風景(食事、講義、坐禅指導)



自らを洲とする ~熊本地震被災地復興支援~



去る4月14日に発生した熊本大地震。被災地では今なお多くの方々が避難生活を送り、一日でも早い復旧復興に向け、頑張っております。

住職が所長を勤めます曹洞宗群馬県宗務所では、被災直後に支援金を県内寺院様に募り、その浄財を6月に熊本大分両県曹洞宗宗務所に持参いたしました。当地にて被災状況の現地視察を

↑分福茶釜で有名な茂林寺様に於て托鉢行

合わせて行って参りました。更に本庁に曹洞宗義捐金として、また上毛新聞社を通じ同災害被災地復興支援の為、総額700万円を寄附しました。ほか県青年会では、熊本・大分・佐賀各県の青年会へ支援金及び支援物資を募り送付。連休中の5月2日には、分福茶釜で名高い館林市茂林寺様にて県青年会有志が托鉢行を修行。

東日本大震災は来年で七回忌を、日航機墜落事故は三十三回忌を迎えます。更に本年は新潟中越地震十三回忌正當の年です。引き続き、出来る範囲で被災地支援活動を行って参りたいと考えておりますので、ご協力戴ける方は、そのお志を當山までお届け賜れば幸いです。

被災した熊本の
 名刹大慈寺様→



平成27年度寄進者一覧（順不同、敬称略）

番号	地区	氏名	寄附物品
1	吉井川	新井 徳衛	輪島塗唐草蒔絵「三宝」
2	吉井	井上 隆	
3	富岡	新井 富士雄	プラチナ箔押献茶湯器
4	山口	伊藤 敏子 (小池家)	正絹青緑色段紹 大衣
5	吉井	井上 幸子	正絹羽二重 黄恩衣
6	吉井	井上 有	
7	吉井川	上原 澄夫	正絹薄茶紹 九条両山紋入刺繍袈裟
8	長根	上原 久男	本堂前スロープ設置工事一式
9	神保	小沢 昇	螺鈿入樺花台及び樺置物
10	高	金井 正男	朱壺
11	矢田	齋藤 悦男	40号絵画「齋藤彌平遺作 野仏」
12	多比良	篠崎 はるみ	絵画「篠崎久男遺作」
13			正絹茶羅織道中衣
14	高崎	篠原 敏子	本堂用ブルーヒーター大型暖房機2台
15	吉井	須藤 光雄	真塗経机
16	川崎	神保 國治	正絹麻紹青緑色九条袈裟、坐具付
17	多胡	神保 健一	塩瀬黄衣
18	神保	神保 堯男	樺製立香炉台
19	神保	関口 幸生	開山堂扉修復一式
20	白石	田村 敏明	蓮型総金箔香炉・香台セット
21	吉井	宮川 敏雄	白彼岸花球根200個
22	高崎	森 義壽	黒磁器香炉
23	吉井	森平 文男	本堂前スロープ カリン材
24	吉井川	矢島 巖	青銅製「寿老人」・岩躑躅15株
25	新盆檀信徒一同		本堂放送設備一式入替工事
			本堂大間畳張替21畳

御寄進、誠に有難うございました

合掌

行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

早いもので、京浜地区ではお盆を迎える月になりました。このお盆ですが、我が国では同地区を除き、月遅れである8月に行われることが一般的です。明治期に新暦が採用され、既に150年ほど経とうとしておりますが、お盆だけは唯一新暦に組み込まれず、今に伝わっております。

歴史ある我が国に遺り伝わる様々な行事・伝統・文化等が廃れていっております。仏師の職人さんとお話する機会に恵

まれましたが、伝統工芸の世界でも同じであると伺いました。単なる復古主義では決してありませんが、時代の流れといった一言で片付ける事は残念に感じます。寺院がその防波堤になるよう、更に精進をさせて戴こうと思っております。

檀信徒始めご縁に繋がる皆様方のお力添えを、尚お一層賜りたく、宜しく願い申し上げます。（龍）

